



環境月間特集

# 家族で取り組む簡単エコ生活

～知って 気付いて 行動してみよう～

地球温暖化が要因と考えられる気象変動などの事象が多く見られるようになり、マイバッグの持参や電気の節約などのエコ生活（環境に優しい生活）に取り組む人が年々増えています。

市においても、恵まれた自然環境を将来の世代に引き継ぐために「島田市環境基本計画」を策定し、総合的な取り組みを進めてきました。

6月は環境月間です。この機会に、地域や家庭のために、エコ生活の必要性について考えてみましょう。

（問）環境課 ☎36-7145



## 大きな課題を身近に感じて

地球温暖化は、世界規模の大きな課題です。現在、世界的な人口増加や産業の発展などが原因で、二酸化炭素の排出量が100年前に比べて12倍に増加したと言われています（静岡県地球温暖化防止活動推進センター発行「みんなでアース・キッズ・チャレンジ」より抜粋）。地球上に二酸化炭素が多ければ多いほど、太陽から吸収した熱を宇宙に放出することが困難となり温暖化が進みます。

では、地球温暖化を食い止めるため、私たちに何ができるのでしょうか。

実は、もう私たちは知っている

ます。そして、エコ活動に取り組んでいます。買い物にマイバッグを持参したり、積極的にゴミの分別やりサイクルをしたりしています。このようなエコ活動の積み重ねこそが、大きな課題に立ち向かう必要な取り組みなのです。また、市としても、個人や家庭などのエコ活動の推進に力を注いでいます。

【「エコ生活を家庭に取り入れる」

昨年度、伊太小学校の児童たちがエコ生活を体験するアース・キッズ・チャレンジに挑戦しました。この事業では「①知る②気付く③行動する」をテー



伊太小学校(6年)  
おざわはるき  
小澤遼希さん

**家族の話し合いで決めたこと**

「アース・キッズ・チャレンジで、僕の家では、テレビゲームをやった後のテレビや使っていない時のパソコンの電気を切り忘れていないことに気が付きました。家族で話し合っ、これからはこまめに電気を消したり、しっかりシャワーを止めたり、お菓子の箱を分別して捨てたりすることに決めました」

- ①家庭での無駄遣いを話し合う様子
- ②自転車発電でラジオを流す体験
- ③エコリーダー宣言 ④アース・キッズ・チャレンジ(発行元/静岡県地球温暖化防止活動推進センター)



マに、地球温暖化という大きな課題について児童とその家族にとって身近なものとして感じてもらおうことを狙っています。

**①知る**

地球温暖化と、電気・ガスなどの家庭で二酸化炭素を排出するものを知る。また、自転車で発電体験をして電気の大切さを知る。

**②気付く**

電気・ガスなどのメーターを調査して、節約前の一週間と、節約後の一週間の使用量の違いに気付く。

**③行動する**

エコ活動の必要性と方法を学んだ児童たちが「エコリーダー宣言」をし、家庭でのエコ生活を継続する。

参加した児童とその家族は、小澤遼希さん(伊太小6年)の家族のように、小さな努力で大幅に二酸化炭素の排出量を下げられる効果を実感できたため、継続的な実施を心掛けるようになりました。今すぐできる簡単エコ生活を、効果とともに紹介します。地球のため、あなたの家庭でも実践してみましよう。

このほかにも、市は、市民・事業者との協働によるエコ活動を推進しています。

**すぐできる簡単エコ生活**

**1 シャワーをしっかりと止める**

効果/年間で約29・1kgの二酸化炭素を削減

お得/年間で約2760円節約

①体や頭を洗っている時間はシャワーを止めて、流しっぱなしを防ぎましょう。

②お湯を流す時間を、1分間短くしましょう。

**2 テレビを見ないときは消す**

▽液晶テレビ

効果/年間で約5.9kgの二酸化炭素を削減

お得/年間で約370円節約

▽プラズマテレビ

効果/年間で約19・8kgの二酸化炭素を削減

お得/年間で約1240円節約

①テレビがついている時間を、1日1時間減らそう。

②消す時は、主電源も落とそう。

**3 電球形蛍光灯を使う**

効果/年間で約29・4kgの二酸化炭素を削減

お得/年間で約1850円節約

①白熱電球から電球形蛍光灯に交換するだけで、省エネ効果が得られます。

②さらに、省エネタイプのLED電球もあります。



## 協働の取り組みで将来にバトンタッチ

当市は、大井川をはじめとする自然環境に恵まれ・育まれ、文化や産業などが繁栄してきた歴史もあります。子どもたちも、自然と触れ合う中で、楽しさや厳しさを学びました。だからこそ私たちは、この「恵まれた自然」を守らなくてはなりません。

昨年度、市が実施したアンケートで、市民の87%以上の人が、マイバッグの持参やゴミの分別・リサイクルに協力していることがわかっていきます。環境に対する関心が高く、「自分も何

かしくなくては」という気持ちを持っていく現れでしょう。

一方「市の環境レベルはどれくらい?」「自分に何ができる?」「費用がかかるの?」という疑問を抱く人も多く、環境に関する情報提供も求められています。情報不足が原因で、個人や家庭でのエコ活動に限界を感じることもあるのかもしれませんが、市民・事業者との協働事業は、環境に関する情報周知の場にもなっています。協働の事業をいくつか紹介しますので、ぜひ一緒に、将来の市民へ「恵まれた自然」というバトンを手渡ししましょう。

### 市民との協働

#### ふじのくにエコチャレンジDAYS

▼家計にもやさしいエコライフにチャレンジ。

①チャレンジシートに記載された10項目について、取り組むことができたらマークします。

②取り組み(最大で7日間)が終わったら、チャレンジシートを環境課へ送付または持参してください。

③二酸化炭素削減量や光熱費換算金額などが記載された「認定証」が送付されます。

④集計が終わる次第、市全体の取組結果をホームページで公表します。申し込み/個人参加の場合は、環境課

窓口・総合案内でチャレンジシートを配布。団体参加の場合は、参加申込書に必要事項を記入し、直接またはファクス・Eメールで環境課へ。参加申込書は、ホームページからダウンロードできます。しめきり/8月30日(金)

#### 児童対象環境教育および

##### 市民対象環境セミナー

▼市内で活動する環境ボランティア団体「島田市の循環型社会を考える会」が主催します。ぜひ、ご参加ください。

##### 【児童対象環境教育】

とき/7月27日(出)午後1時30分～5時

内容/市の遺産マップを作成

参加費/無料(先着順20人)

##### 【市民対象環境セミナー】

とき/7月28日(出)午前9時30分～正午

内容/市の循環型社会を考える「環境まちづくりのあり方」

参加費/無料(先着順50人)

##### ▽共通

ところ/しまだ楽習センター第3楽習室(3階)

持ち物/ノート・文具

申し込み/電話で島田市の循環型社会

を考える会へ

※当会は、市民・団体・学校・事業者

および行政の協働による環境まちづ

くりや資源循環型社会のあり方を考

えることを目的に、平成24年10月に

設立されました。

◎島田市の循環型社会を考える会

☎090・5115・5601(津田)

### 事業者との協働

#### 2013 環境フェアin島田開催

▼今年で10回目を迎える、環境月間にちなんだイベントです(入場無料)。とき/6月29日(出)午前10時～午後3時30分

ところ/プラザおおるり展示ホール

#### 内容

◎事業所による環境にやさしい製品の紹介

◎剪定枝堆肥の無料配布(数量限定)

◎クイズラリー参加者に種子栽培セットプレゼント(先着200人)

#### エコアクション21取得セミナー

▼エコアクション21とは、環境省が中小事業者向けに制度化した環境マネジメントシステムのことです。環境に配慮する事業活動を支援するためのセミナーの参加事業者を募集します。

#### 【説明会】

とき/8月8日(出)午後2時～3時30分

ところ/市役所会議棟大会議室

#### 【セミナー】

とき/①8月30日(金)②9月27日(金)③

10月23日(水)④12月6日(金)⑤平成26

年2月7日(金)午後1時30分～4時

30分

ところ/プラザおおるり第3多目的室

受講料/無料

※認証取得の際は、審査費用・認証料

などが必要になります。

申込方法/7月31日(水)までに、電話で

環境課へ



昨年の環境フェア



環境市民会議のワークショップ



## 市民が望む環境像の実現に向けて

市では、恵まれた自然環境を将来の世代に引き継いでいくために、平成15年3月に「島田市環境基本計画」を策定。また、昨年度末に計画期間（10年間）が終了を迎えたため、環境を取り巻く状況の変化などを踏まえた計画の見直しを行い、新たに「第2次島田市環境基本計画」を策定しました。

環境とは、とても大きなテーマです。このため、環境の維持・改善を進めるには、市民や事業者にとって持続可能な計画であることが鍵となります。今回の基本計画では、推進主体を市民・事業者・市とし、それぞれの役割を果たすとともに、相互協力・連携などの協働の取り組みを重点的に掲げられています。

### 【30年後の島田市を想定して】

第2次島田市環境基本計画の策定に当たり、市民・事業者で構成された「環境市民会議」を開催。この会議では、20年後、30年後の島田市を想定して、望ましい環境像やその実現に向けて必要な取り組みなどについて、ワークショップ形式で話し合いました。

ワークショップでは、まず市がこれからのような環境を目指すべきかについて、市が実施した市民アンケートの結果のほか、参加者の自由な意見などから望ましい環境像を設定しました。その後、望ましい環境像の実現を

図るための具体的な取り組みなどを検討し、5つの分野で長期的な基本目標を設定。さらに、その達成度を分かりやすく、また、イメージしやすくするため、基本目標ごとに数値目標を定めました（表1）。

### ●望ましい環境像

#### 大井川が育む

みどり豊かな自然と共生する

資源循環型のまち しまだ

### ●基本目標

- ① 自然環境の保全
- ② 生活環境の保全
- ③ 資源循環の推進
- ④ 地球環境の保全
- ⑤ 環境教育・環境保全活動の推進

市は、計画の達成に向け市民・事業者に協力を呼び掛けるとともに、積極的な支援を実施していきます。

※計画の期間は、今年度から平成34年度までの10年間。平成30年度に社会情勢の変化や他の計画との整合を図り、中間の見直しを行う予定です。

環境市民会議に参加した人たちからは「市民の一人として実行したい」「行政と市民の協働の取り組みが必要」「計画の周知・教育が大事」など、計画への期待の声を多くいただきました。皆さんもぜひ、できる活動から一緒に取り組んでいきましょう。

■基本目標ごとの主な数値目標（表1）

指標名	現状値 (H23年度)	目標値 (H34年度)
①耕作放棄地面積	16.3ha	14.1ha
②大気汚染の物質の環境基準達成率	100%	100%
③1人1日当たりのごみ排出量	890g/人・日	878g/人・日 (H30年度時点)
④太陽エネルギー利用設備導入助成利用者の発電容量	2,226kW	4,290kW (H30年度時点)
⑤環境学習講座受講者数（新規事業）	0人	200人

第2次島田市環境基本計画は、島田市ホームページ（<http://www.city.shimada.shizuoka.jp>）や、市役所本庁・金谷南支所・金谷北支所・川根支所の情報公開コーナーでご覧になれます。